

「銀の杯」

2021年07月09日

ユダが答えた。「ご主人様に何を申せましょう。何を語れましょう。身の潔白を何をもって明かせましょう。神が僕どもの罪を暴かれたのです。私たちはご主人様の僕となります。私たちも、杯が見つかった者もです。」ヨセフは言った。「そのようなことは考えてもいない。杯が見つかった者だけが私の僕になるのだ。お前たちは安心して父のもとへ上って行くがよい。(創世記 44 章 16 節～17 節)

ヨセフは 11 人の兄弟と食事をした。食事が終わると、管理者に、「あの者たちの布袋を、運べるかぎりの食料でいっぱいにし、めいめいの銀をそれぞれの布袋の口に入れておきなさい。それから、私の杯、あの銀の杯を、末の弟の布袋の口に、穀物の代金と一緒にに入れておきなさい」と命じた。次の朝、兄弟たちはろばと共に送り出された。彼らはどんなに喜んだであろうか。ベニヤミンを連れ、捕らわれていたシメオンも解放され、持てるだけの食料をろばの背に乗せ、父ヤコブのもとに帰れる。宰相ヨセフに深々と頭を下げ、感謝して出発した。ところがヨセフは、彼らが町を出て、まだ遠くに行かないうちに、管理者に、「すぐにあの者たちの後を追いかけて、追いついたら彼らに言いなさい。『どうして、あなたがたは悪をもって善に報いるのだ。あの銀の杯は、主人が飲むときや、まじないをするときにお使いになるものではないか。あなたがたがしたことは悪いことだ』と言うように」と命じた。管理者が、一行に追いついて、ヨセフの言葉を伝えた。彼らは、「あなた様はどうしてそのようなことをおっしゃるのですか。私どもがそのようなことをするはずがありません。布袋の口に見つけた銀でさえ、私たちはカナン之地から持ち帰って、お返ししたではありませんか。私たちがご主人様のお屋敷から銀や金を盗んだりするのでしょうか。僕どもの誰からでも杯が見つければ、その者は死ななければならず、私たちはご主人の僕になります」と答えた。豪華な食事をいただき、ベニヤミンもシメオンも無事で、食料も得た彼らは、感謝こそすれ、盗むことなどは断じてしていないと潔白を言い表した。すると管理者は、「それではあなたがたの言うとおりにしよう。杯が見つければ、その者は私の僕になるのだ。しかしほかの者は罪なき者としよう」と言った。彼らは急いでそれぞれ自分の布袋を開けた。年上の者から調べ始め、年下の者で終えたところ、末の弟ベニヤミンの布袋の中から、銀の杯が見つかった。彼らは、衣服を裂いて、悲しんだ。父ヤコブが最も愛し、エジプトに行くことを最後まで拒んだベニヤミンをカナンに連れ帰ることができない。エジプトで奴隷として過ごさなければならない。兄弟たちは父の悲しみと末弟の行く末を思い、動転した。彼らは荷を積んで、ヨセフの屋敷へと引き返した。

彼らが屋敷に着くと、ヨセフは待ち構えていた。そして、「お前たちのこの仕業は何なのだ。私のような者はまじないをすることを知らないのか」と怒った。ユダが口を開いた。「ご主人様に何を申せましょう。何を語れましょう。身の潔白を何をもって明かせましょう。神が僕どもの罪を暴かれたのです。私たちはご主人様の僕となります。私たちも、杯が見つかった者もです。」ユダは、一切弁解せずに、神が罪を暴かれたと言った。全兄弟が僕として仕えたと申し出た。するとヨセフ、「そのようなことは考えてもいない。杯が見つかった者だけが私の僕になるのだ。お前たちは安心して父のもとへ上って行くがよい」と言った。ヨセフを奴隷として売ったことを悔やんでいることは知った。しかし、ヨセフはこの罫で、兄弟たちのベニヤミンへの扱いと父への愛を確かめたかったのである。